

## 高等技術専門校評価システム<評価表>

中央高等技術専門校 空調システム科

評価項目		指標	評価	コメント																		
1 訓練内容 必要な技能・知識を習得させるための訓練内容が設定され、実施されている	(1) 生活指導 あいさつができる、遅刻・欠席が少ないなど、生活指導が適切である	出席率 90%以上	(a) b c 出席率98.6%	○生活指導に重点を置き、社会人としての人格形成に努めている。 ○補講、追試等を実施し、訓練生の状況に応じ、きめ細かな指導を行った。 ○各学期末に生徒アンケートを行ない、その結果を踏まえ、満足度向上に努めている。																		
	(2) 訓練生満足度 訓練内容に対し、訓練生の満足度が高い	満足度 90%以上	(a) b c 満足度92.6%																			
2 応募・入校状況 入校者が定員を充足している	(1) 応募状況 応募倍率が1.25倍以上である	応募倍率 1.25倍以上	a b (c) 応募倍率0.76倍	○応募者19人、合格者19人、入校者17人 ○高校・職安への募集巡回・オープンキャンパス・高等学校説明会等に積極的に取り組んだ。 ○令和4年度入校生の応募者は定員の0.76倍で低調であった。コロナ禍の影響もあるが、令和5年度に向け積極的な募集広報を行う。 ○合格者に対し、「入校準備レポート」を課し、訓練への準備とモチベーションの維持・高揚に努めている。																		
	(2) 入校状況 入校者が定員を充足している	入校率 100%	a b (c) 入校率68.0%																			
3 就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と連携を図り、雇用情勢の情報収集や訓練生に対する相談、指導等の就職支援がなされている	(1) 就職状況(確定値) 就職率が100%である	就職率 100%	(a) b c 就職率100%	○求人数:109社、244人 求人倍率:12.8倍 ○ほぼ昨年度と同程度の求人数を確保し、就職率100%を達成できた。 ○令和2年度修了者は、修了時点で全員が就職しているため、追指導対象者はいない。 ○大企業から中堅企業まで、幅広い求人を得ている。 ○科目の希少性、訓練内容、資格取得状況、修了後の定着率等の実績から、ほぼ毎年継続的に求人を寄せる空調及び電気の関連企業が多い。																		
	(2) 就職状況(追指導最終値) 就職率が100%である ※ 平成元年度修了者	就職率 100%	a b c 評価しない																			
	(3) 就職状況 訓練関連率(訓練を活かした就労率)が80%以上である	関連就職率 80%以上	(a) b c 関連就職率100%																			
4 資格取得状況 訓練科ごとに適切な資格取得目標が掲げられ、資格が取得されている	・ 資格取得状況 訓練科ごとに適正資格取得目標が掲げられ、資格が取得されている	合格率 全国平均以上	(a) b c 全国平均以上	○各資格取得状況 <table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th></th> <th>合格率</th> <th>全国平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第二種電気工事士</td> <td>100.0%</td> <td>41.0%</td> </tr> <tr> <td>第一種電気工事士</td> <td>90.0%</td> <td>33.5%</td> </tr> <tr> <td>第二種冷凍機械</td> <td>100.0%</td> <td>31.4%</td> </tr> <tr> <td>第一種冷凍機械</td> <td>100.0%</td> <td>35.6%</td> </tr> <tr> <td>二級ボイラー技士</td> <td>85.0%</td> <td>57.1%</td> </tr> </tbody> </table>		合格率	全国平均	第二種電気工事士	100.0%	41.0%	第一種電気工事士	90.0%	33.5%	第二種冷凍機械	100.0%	31.4%	第一種冷凍機械	100.0%	35.6%	二級ボイラー技士	85.0%	57.1%
	合格率	全国平均																				
第二種電気工事士	100.0%	41.0%																				
第一種電気工事士	90.0%	33.5%																				
第二種冷凍機械	100.0%	31.4%																				
第一種冷凍機械	100.0%	35.6%																				
二級ボイラー技士	85.0%	57.1%																				

a:優れている    b:良好である    c:改善を要する

### 総合評価

A:優れている    (B):良好である    C:一部改善を要する    D:総合的な見直しを要する

- 住環境や省エネルギー技術の新たなカリキュラムを取り入れ、エコ人材の育成も目標にしている。
- 令和4年度入校生に向けた募集広報活動は、最大限行なったが、定員の確保まで達しなかった。  
また、入校者については、直前で辞退者が2人発生した。  
今後も引き続き、応募倍率の向上を目指し、高校やハローワークなどの訪問回数を増やすなど広報活動を従来よりも精力的に行っていく必要がある。
- 空調分野を主軸として、電気分野にも対応した訓練を実施しているため、電気工事やビル管理など関連企業から多くの求人を得ることができ、就職希望の訓練生全員が正社員として就職している。
- ものづくり技術者としての意識を醸成するため、卒業制作で設計、製作、評価、改善といった一連の工程を体験させている。  
また、発表会を行い製作した訓練生が自らプレゼンテーションを行うことで、より理解度を高めている。